

情報・システム研究機構 教育研究評議会（令和5年度第7回）議事要旨

日 時： 令和6年3月11日（月）15：30～17：30

形 式： 情報・システム研究機構会議室及びWeb会議

出席者：木部暢子評議員、篠崎資志評議員、高木利久評議員、塚本恵評議員、
永田敬評議員、福井学評議員、BENTON Caroline F. 評議員
喜連川優評議員（議長）、椿広計評議員、中村卓司評議員、小酒井克也評議員、
中野美由紀評議員、野木義史評議員、黒橋禎夫評議員、花岡文雄評議員、
仙波秀志評議員、中川健朗評議員、伏見信也評議員、荒木弘之評議員、
堤雅基評議員（極地研）、相澤彰子評議員（情報研）、川崎能典評議員（統数研）、
仁木宏典評議員（遺伝研）

オブザーバー：村上雅人監事、門田隆太郎監事

陪席者：本部事務局・研究所事務担当者

○議事に先立ち、議長より本会の成立要件の確認があった。

○議長より、令和5年度第6回議事要旨の確認が行われた。

議 題：

【審議事項】

（1）戦略企画本部・コンジリエント基盤室の設置について

仙波評議員より資料1に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会にて審議することとした。

（2）国立極地研究所における運営企画本部の設置及び先端研究推進系、共同研究推進系の改組について

野木評議員より資料2-1～2-2に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会にて審議することとした。

（3）国立情報学研究所におけるトラスト・デジタルID基盤研究開発センター及び大規模言語モデル研究開発センターの設置について

黒橋評議員より資料3-1～3-2に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会にて審議することとした。

（4）統計数理研究所における運営企画本部基幹研究系支援室の設置について

椿評議員より資料4-1～4-2に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり

了承され、役員会にて審議することとした。

- (5) データサイエンス共同利用基盤施設の新体制への移行及び戦略的センターの設置について

仙波評議員より資料5に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会にて審議することとした。

- (6) 機構長補佐の設置等に伴う情報・システム研究機構組織運営規則の一部改正について
小酒井評議員より資料6-1～6-4に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会にて審議することとした。

- (7) 名誉教授の称号授与について

小酒井評議員より資料7、野木評議員、黒橋評議員より回収資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

【報告事項】

- (1) 研究教育職員に係る人事異動等について

議長より資料8に基づき、研究教育職員に係る人事異動等について報告された。

○ ROISの新たな挑戦シリーズ 第3弾（統計数理研究所）

椿統計数理研究所長より資料に基づき、研究所における取組み及び新たな挑戦等について発表された。

（意見概要）

○色々な分野との融合があると理解したが、産業界との連携についてどのような事例があるか。

→最も進んでいるのはマテリアル分野。ソフトウェア RadonPy のリリースなども契機にして推進しており、これまでの物性予測だけでなく、新しい準結晶の化学組成の予測実証といった研究も進んでいる。ほかには、東芝との連携では工場の現場技術者の治験を学習する AI の開発も推進しているほか、三菱ケミカルや JSR とは共同研究部門も設置している。

○国際的な産学連携はどのような状況か。

→RadonPy については、海外企業からの関心も寄せられているが、まずは日本の産業界を連携に注力している段階。なお、地震予測に関する研究については、イタリア、中国との連携も進んでいる。

○企業との共同研究について、受入額が微減しているほか、1 件あたりの額が 100 万円程度となっているが、比較的小規模な案件が多いのか。

→受入額については、もともと大きな予算を必要としない研究分野。我々がマテリアルを作るのであれば受入額も変わってくるが、我々はあくまでオープンソースのプログラムを提供し、企業から人的リソースを出してもらう形で推進しており、人件費は表に出てこないなので額には反映されていない。

○現状、善意の固まりのように感じられるが、もっと統数研でしかできない研究、取組みを推進することで予算獲得に繋がれるのではないか。

→統計思考院では研究者向けに共同研究スタートアップといった取組みも行っている。その取組みも無償で行っているが、それを契機に共同研究等に発展できればと考えている。

○人文系のデータは数値化しないと統計数理に乗ってこない。言語をどのように数値化するかといった課題があると考えており連携を進められれば。

→統数研においても、源氏物語などを題材に、言語を統計的にとらえ解析するといった研究も行っている。今後連携していければ。

(次回の教育研究評議会の日程について)

・次回の教育研究評議会は、令和 6 年 6 月 18 日（火）15：30 から開催の予定。

以上

《配付資料》

・前回議事要旨

・【資料 1】戦略企画本部・コンジリエント基盤室の設置にについて

・【資料 2－1】国立極地研究所の運営企画本部の設置及び先端研究推進系、共同研究推進系の改組について

・【資料 2－2】(新旧対照表) 情報・システム研究機構組織運営規則_極地研

・【資料 3－1】国立情報学研究所におけるセンター設置について

- ・【資料３－２】（新旧対照表）情報・システム研究機構組織運営規則_情報研
- ・【資料４－１】統計数理研究所における運営企画本部基幹研究系支援室の設置について
- ・【資料４－２】（新旧対照表）情報・システム研究機構組織運営規則_統数研
- ・【資料　５　】データサイエンス共同利用基盤施設の新体制への移行及び戦略的センターの設置について
- ・【資料６－１】（概要）組織運営規則の一部改正について
- ・【資料６－２】（新旧対照表）情報・システム研究機構組織運営規則_機構長補佐
- ・【資料６－３】（新旧対照表）情報・システム研究機構組織運営規則_男女共同参画推進室
- ・【資料６－４】（新旧対照表）情報・システム研究機構組織運営規則_立川共通事務部
- ・【資料　７　】名誉教授称号授与規程
- ・【資料　８　】研究教育職員に係る人事異動等について